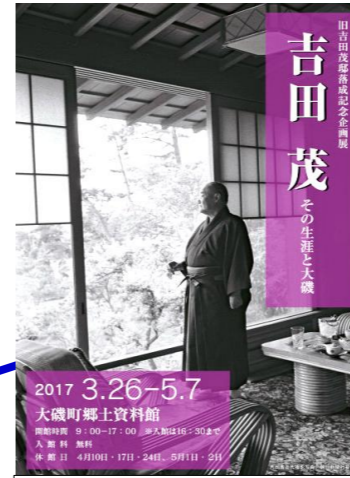
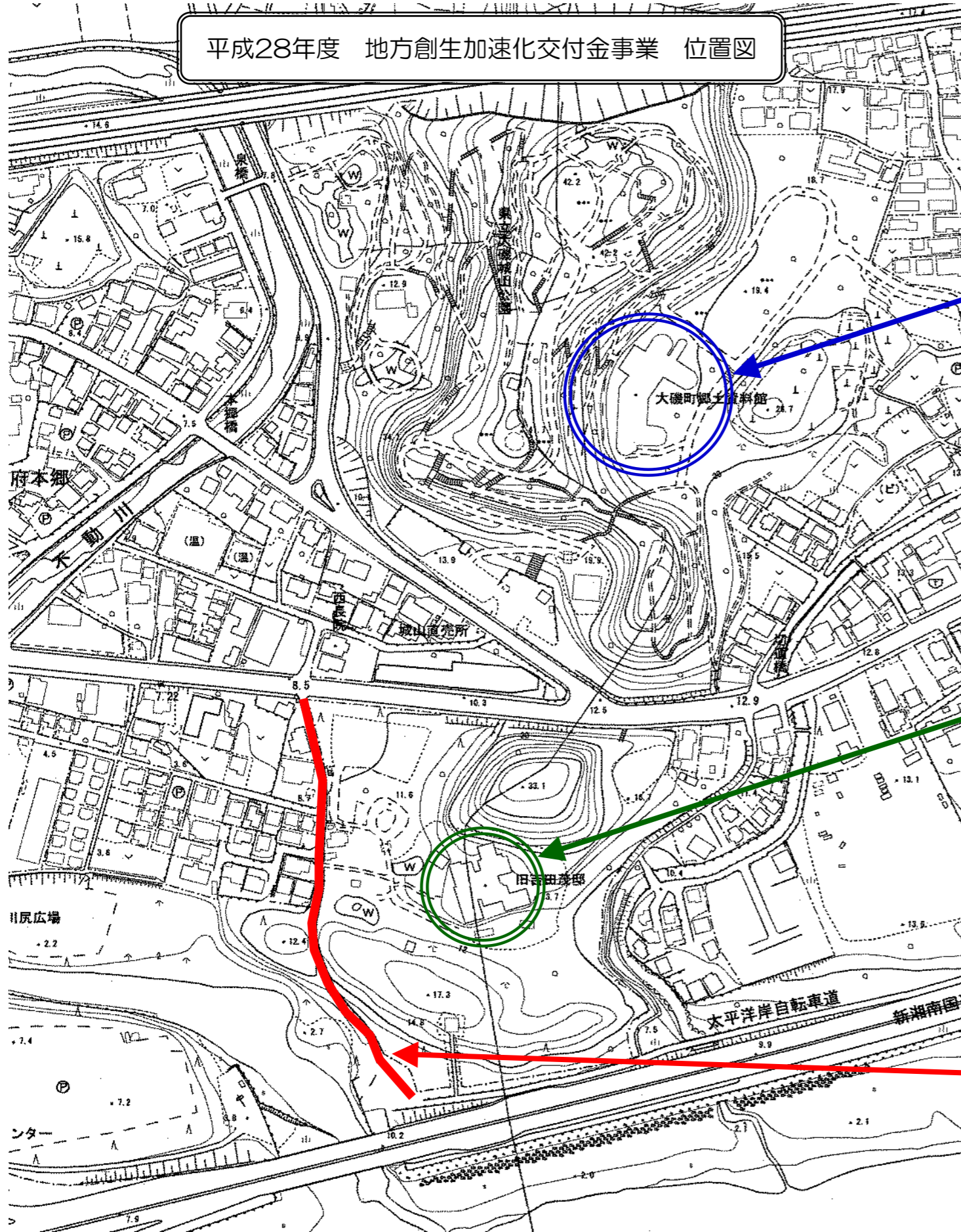


- 1 事業名 「近現代の歴史舞台からの地域づくり事業」
- 2 事業期間 平成28年5月～平成29年3月

PLAN		DO				CHECK		ACTION				
要旨	KPI (重要業績評価指標)	指標	基準値	目標値(事業後)	目標値(最終)	事業終了時の実績		審議会評価				
						KPI	備考	評価	意見等			
<p>大磯町では、地方版総合戦略の策定に際し、「国がめざす今後の施策の方向（国の4つの政策分野）」に沿って、「大磯への新しいひとの流れをつくる」、「大磯で若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「大磯にしごとをつくり安心して働けるようにする」、「大磯の地域が連携しあい安全・安心なくらしをつくる」という4つの戦略を掲げ、各種事業に取り組むこととしています。まずはその第一歩として、「大磯にひとを呼び込む」ためのひとの流れをつくることに重点を置き、施策を進めることとしました。</p> <p>本町は、伊藤博文公をはじめとする歴代首相などの政財界人が邸宅を構え、日本の近現代史の舞台となった歴史的・文化的な資源（邸園※文化圏等）など、大磯ならではの地域資源を有しています。その中でも、平成21年に焼失し再建をめぐらしていた「旧吉田茂邸」が平成29年3月に完成、オープンします。</p> <p>オープニングを迎えるに当たり、焼失前の息吹を再現するため建物内の調度品を整備し、大磯が近現代の歴史舞台であったという「日本の誇り」、「大磯の誇り」を肌で感じるができる魅力ある施設を創出します。そして旧吉田茂邸を町内外にPRすることで、吉田茂公を知る年配の方だけではなく、多世代の観光客を呼び込むとともに、旧吉田茂邸の案内を通じて、吉田茂公がこよなく愛した大磯で過ごした時を再現し、大磯の魅力ある暮らしを来場者に伝えていきます。</p> <p>さらに、毎月第3日曜日に大磯港で開催されている、神奈川県内最大級の朝市「大磯市（おおいそいち）」には、毎回5,000人以上の観光客が訪れ、子育て世代（生産年齢人口層）も少なくありません。この大磯市に訪れる子育て世代もターゲットとして、大磯港から旧吉田茂邸までを結んでいる太平洋岸自転車道を、大磯港からレンタサイクルを利用して旧吉田茂邸までの間、大磯の自然や文化、人々の生活にふれながら回遊してもらい、旧吉田茂邸へと「人」を呼び込みます。</p> <p>そして、町内の関係団体で組織する「大磯町新たな観光の核づくり推進協議会」と連携して作成を進める「大磯ブランド絵巻パンフレット（仮称）」により、来訪者には大磯の魅力を伝えるとともに、大磯への移住を考えている方へは「おおいそライフ（仮称）」（フリーペーパー）により大磯での生活の魅力を伝え、定住促進へのきっかけを作り、定住に繋げていきます。</p> <p>大磯町の高齢化率は全国・神奈川県平均と比較しても31.3パーセント（平成27年度）と、かなり高い割合となっています。そのような状況を鑑み、高齢化の進行を抑制すべく、大磯ならではの地域資源と自然の恵みを活用した付加価値の高い生活スタイルを子育て世代（生産年齢人口層）へ提案し、彼らが大磯へ呼び込み、そして定住促進を図ることで、人口の増加と税収の増加をめざします。</p> <p>※）邸園 … 「邸」宅と庭「園」をあわせた造語。</p>	指標①	入込観光客数	85.8万人 (H26.12)	90.6万人 (H29.3)	100万人 (H31.12)	86.0万人 (H29.12)	H26：85.8万人（宿泊13.9万人、日帰り71.9万人） H27：85.6万人（宿泊15.7万人、日帰り70.0万人） H28：86.0万人（宿泊13.2万人、日帰り72.8万人）	I II III	町評価 今後の方向性			
	指標②	転入による社会増人口数	年間114人 (H27.12)	年間120人 (H29.3)	年間120人 (H32.3)	年間201人 (H28.12)	H26：社会増 54人（転入1,230人、転出1,176人） H27：社会増114人（転入1,321人、転出1,207人） H28：社会増201人（転入1,298人、転出1,097人）					
	事業概要		実施状況等 (H28)				その他の指標等（平成29年11月末現在）					
	事業名		事業主体		事業費（円）		実施概要			事業費（円）		
	吉田茂展（仮称）開催		大磯町		774,000円		大磯町郷土資料館において、旧吉田茂邸落成記念企画展「吉田茂ーその生涯と大磯ー」を開催した。 【開催期間】 平成29年3月26日から5月7日まで（38日間）			293,351円		
	大磯ブランド絵巻（仮称）パンフレット作成		大磯町新たな観光の核づくり推進協議会		702,000円		「大磯ブランド」として、大磯の魅力を構成する要素を「9つの価値観」としてまとめ、町民に分かりやすい形で示し、周知を図るとともに、「大磯ブランド」の認知と概念の共有を図るため、「9つの価値観」から連想されるブランドメッセージ及びロゴデザインを広く募集するためのパンフレットを作成した。 【作成部数】 15,000部 【配布対象】 町民全世帯及び町外 【募集方法】 平成28年広報おおいそ8月号で全戸配布 町観光ホームページ（isotabi.com）へ掲載			1,512,000円		
	「おおいそライフ」（仮称）作成		大磯町新たな観光の核づくり推進協議会		918,000円		町民及び町外者に対して、「大磯らしい」過ごし方を紹介することで、大磯での暮らしの再認識、併せて新たな大磯の良さ・楽しさを発信へと繋げるため、大磯ブランド「9つの価値観」を体現している町民のライフスタイルに密着した取材を行い、フリーペーパー「大磯暮らし vol.1」として発行した。 【発行部数】 25,000部 【配布対象】 町民全世帯及び町外 【配布先】 平成29年広報おおいそ4月号で全戸配布 公共施設等で配架					
	国府本郷23号線整備工事		大磯町		8,000,000円		大磯町国府本郷地内で太平洋岸自転車道と接続がある道路で、大磯港賑わい交流施設と旧吉田茂邸を自転車道で回遊するためのルートとして整備を行うことを目的とし、町道部分について自転車通行帯の表示を設置した。舗装状況が非常に悪く自転車での通行が困難の箇所について舗装の打ち替えを行った。 【工事延長】 230m 【工事概要】 舗装工、区画線工			5,292,000円		
	旧吉田茂邸調度品製作		大磯町		23,953,000円		旧吉田茂邸内に設置する調度品を製作した。 【制作内容】 ・竹内綱書 ・伊藤博文書 ・藤ソファセット ・杖 ・水周り器具 ・ダブルベッド ・食堂用椅子 ・衝立 ・食堂用テーブル			22,140,000円		
	旧吉田茂邸解説パネル製作		大磯町		2,160,000円		旧吉田茂邸内に設置するパネル、サインを製作した。 【制作内容】 ・利用案内パネル1点 ・解説パネル6点 ・サインスタンド3点			907,200円		
旧吉田茂邸備品購入（展示ケース、机など）		大磯町		4,000,000円		旧吉田茂邸に設置する備品を購入した。 【備品類】 ・展示ケース ・ベルトパーテーション ・事務机及び椅子 ・会議用机及び椅子 ・シューズボックス など		3,323,732円				
旧吉田茂邸図録印刷		大磯町		1,400,000円		旧吉田茂邸落成記念企画展「吉田茂ーその生涯と大磯ー」図録（A4・40頁）を作成した。 【作成部数】 2,000冊		432,000円				
交付金対象経費		10,394,000円		交付金対象経費		7,097,351円		審議会評価 I - 地方創生（総合戦略事業の推進）に非常に効果的であった。 【事業の実施によって、総合戦略の推進や加速化交付金のKPI向上に十分な効果が認められる】 II - 地方創生（総合戦略事業の推進）に効果があった。 【事業の実施によって、総合戦略の推進や加速化交付金のKPI向上に一定の効果が認められる】 III - 地方創生（総合戦略事業の推進）への効果は不十分であった。 【事業の実施による、総合戦略の推進や加速化交付金のKPI向上への効果が認められない】 【事業の実施が不十分である】				
交付金対象外経費		31,513,000円		交付金対象外経費		26,802,932円						
総事業費		41,907,000円		総事業費		33,900,283円						

平成28年度 地方創生加速化交付金事業 位置図



吉田茂展（仮称）開催



- 【対象外経費】
 旧吉田茂邸図録印刷
 旧吉田茂邸調度品製作
 旧吉田茂邸解説パネル製作
 旧吉田茂邸備品購入



国府本郷23号線整備工事

全戸配布



さあ、大磯で君の物語をはじめよう



大磯ブランド絵巻（仮称）
パンフレット作成



「おおいそライフ（仮称）」作成